

溪声

2011



NEW環境展を見学して

東京ビッグサイトで開催された2011 NEW環境展を、5月27日に見学してきました。

会場では、小型コンポスト機、脱水機、業務用洗浄機、消臭剤などの産業関連商品や、ウォーターフリートイレ、LED蛍光灯、窓ガラス用の省エネフィルム、熱中症対策用の商品などの生活関連商品が紹介されていました。

今年は、節電・省エネ関連の商品の展示がひととき多く、中でも断熱・遮熱効果を持つ窓ガラス用の省エネフィルムを展示するブースが多く見られました。このフィルムを窓に貼るだけで、夏は4～11℃、冬は2～4℃の断熱効果が



得られ、手軽に節電ができるために、注目を浴びているようです。

原発事故などによる深刻な電力不足対策として、東京電力・東北電力管内の大口需要家に対して、7月から電力使用制限令が発動されました。7月下旬には、関西電力管内にも節電要請が波及しました。東海地方でも中部電力の浜岡原発の停止があり、電力不足が懸念されます。

今後、全国的に節電の意識が高まり、省エネを目的とした商品が必要となってくるのではないかと思います。

夏のピーク時(14時頃)には、在宅世帯で約1,200Wの電力を消費しており、そのうちエアコンが約半分を占めています。外出中の世帯でも、冷蔵庫、温水洗浄便座、テレビなどの待機電力により、約340Wの電力を消費しているそうです。

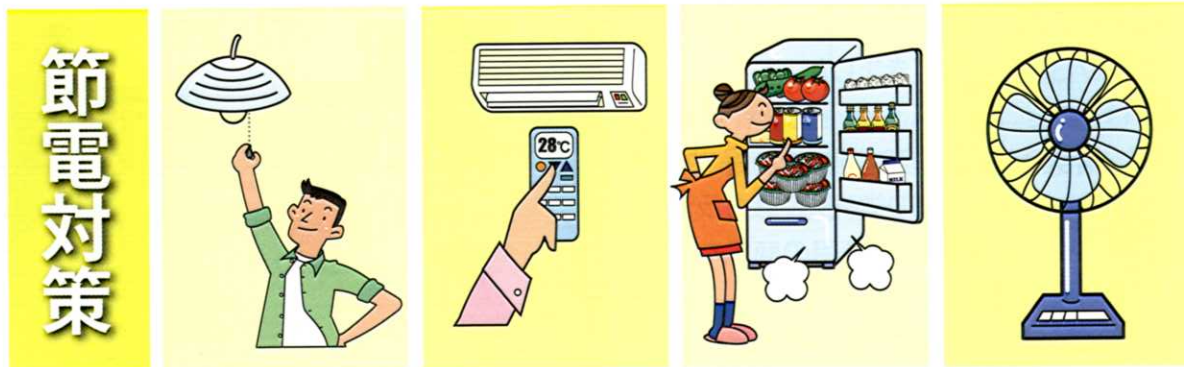


家庭で次の4つを心がけるだけでも、節電効果があります。

- ①室温28℃を守りましょう。
- ②すだれなどで、窓からの日差しを和らげましょう。
- ③無理のない範囲でエアコンを消して、扇風機を使いましょう。
- ④冷蔵庫の設定を『強』から『中』に変え、扉を開ける時間をできるだけ減らし、食品を詰めこまないようにしましょう。

まだまだ残暑は厳しく、エアコンを使用する機会も多いと思いますが、少しでも工夫して節電を意識した生活をしていきたいものです。

●メンテナンス課 美濃島 孝之



節電対策



このコーナーでは、当社の社員が、環境衛生の仕事の現場で見たこと、感じたこと、あるいは仕事に関係のない趣味の世界を、交代で思いつくままに書き綴っていきます。

「私の好きな香り」

最近はお香やアロマなどで、いろいろな香りがはやっていますが、私が大好きな香りは、「ハッカオイル」のスーッとするさわやかな香りです。

実はこのハッカオイル、結構いろいろなことに使えるんです。花粉の時期のマスクに一滴。鼻づまりのイライラも緩和されます。蚊やダニなどの虫除け効果もあるそうです。暑い夏には、お風呂の湯船に数滴ポトリ。少しひんやりしてリラックスできます。さらに水で薄めたものを、アドマイザーに入れて、お風呂上りの身体にシュッ。スーッとひんやりして吹き出る汗もひいていきます。最後は枕にシュッ。大好きな香りに包まれ、極上の眠りへと導いてくれます。エアコンの設定温度もいつもより高くても平気なので、ちょっとしたエコにもなります。

皆さんも一度ためしてみてください。

庵井 京子(いおい きょうこ)

平成22年入社 総務課所属

しあわせになる条件

その20



尾山敦子
キャリアカウンセラー

梅雨の晴れ間は貴重だ。午前六時、私はいそいそとウォーキングに出かけました。今の家に引っ越して5年になりますが、お隣は空き地で、毎朝初老の男性が、せせと野菜作りをしています。ところがその男性、どうも人嫌いなのか私が挨拶をしても、ずっと無視をし続けているのです。「挨拶」は、自ら心を開いて相手に近づくこと。人間関係は、先ず挨拶からはじまる。」私は、挨拶の力を日頃、皆様にお伝えしていることもあり、思いは必ず伝わると信じていました。もくもくと畑の手入れをしている男性に向け、「めげない、めげない、今朝こそは」と「おはようございます!!」私は思いっきり声をかけました。すると「人間は、奥さん一人でたくさんだ!」くだんの男性は、背を向けたままボソリと吐き捨てるように答えたのです。「エエッ?!」まったく意味不明、私の頭の中で彼の言葉がぐるぐる回っていました。「そうか、彼はきっと奥さんとの仲が良くないんだろう。だから、人間なんてまっぴらとっていて、物言わぬ野菜に愛情を振り向けているのかもしれない。」

「自分がしてほしいことを相手にしてあげなさい」と聖書のマタイ伝にありますが、私たちは、とにかく自分がこうされたらうれしいし、こうすることが正しいと信じて、相手が求めていることを押しつけがちです。自分がされてうれしいことが、必ずしも相手もうれしいとは限りませんし、自分が正しいと信じることであっても、相手も同じであるとは言い切れないことを知るべきだと思います。

私は、挨拶は人間関係の潤滑油だし、挨拶し続けていたらいつか彼が心を開いてくれるに違いない。それが彼にとっても良いことだと勝手に判断し、「なぜそんなに頑なに拒絶するの

だろう」といつしか男性を責めていました。しかし、彼の方は「誰とも関わりたくない。毎朝挨拶して来て、うるさいやつだ」と腹立たしい気持ちでいたのかもしれませんが、男性が望まないなら、そっとしておいてあげるのも、思いやりの心なのでしょう。

孔子様の言葉に「自分がしてほしくないことは、人にしてはならない」とありますが、それは当然として、自分がしてほしいことを他人にするときは、よほど慎重にならざるを得ません。

「こんなに一生懸命相手のためと思い、してあげているのに、ちっとも喜ばれないのはなぜだろう?」とお悩みのあなた、少し立ち止まって、本当にこれは相手が望んでいることなのだろうかと考えてみてはいかがでしょうか。

空振りのときのエネルギーロスは大きく、ダメージもより深くなります。心のエネルギーの総量は一定です。無駄なエネルギーは使わず、心の省エネを心がけましょう。



こんにちは! 環境分析室です! No.13

「山から海を想う」

昨年6月に海のない岐阜県主催で「全国豊かな海づくり大会」が開催されたことを、本誌34号でお伝えしました。この大会は私たちに「豊かな海は、豊かな山とそれをつなぐ清流があって始めて育まれる」という大切なことを思い起こさせてくれました。

森や山の木の落ち葉が腐ると腐葉土となります。そこに雨が降ると、雨水が腐葉土を通過し栄養分をたっぷりと含んだ水となって川に注ぎ込み、更に海へとたどり着きます。この栄養分が植物プランクトンを育て、ここから海の世界連鎖が始まります。

このことを全国的に有名にしたのは、「牡蠣の森を慕う会」代表の畠山重篤さんです。畠山さんは気仙沼で牡蠣の養殖をするうちに森と海との関わりに気付きました。そこで上流域の岩手県室根村(現一関市)の室根山に地元の人々の理解の下、広葉樹の森を作り始め、これを「森は海の恋人」運動として全国的に広めてられました。

東日本大震災で壊滅的な被害を受けられた畠山さんですが、雑誌※の対談で次のように語っておられます。

「海はほとんど何も壊れたわけではないんです。壊れたのは人間の都合の部分だけですから。」「皆さんが共通して言っているのはね『海に恨みはない』ってことなんです。」

また今年6月に行われた『「森は海の恋人」植樹祭』を通じて、「何事も部分的に考えるのではなく、自然はすべて繋がっているというメッセージをこれまで通り訴えらるとともに、この試練を乗り越える力を、一人でも多くの方に得ていただきたいと思います。」と語っておられます。この植樹祭は室根の人たちの「こういうときこそやるべきだ」という言葉に後押しされ、震災後も例年通り行われたそうです。

私たちも、畠山さんの言葉をしっかりと受け止め、森から川や海を想う視点を持ち、それぞれの地域で水環境の保全に取り組みながら、東日本の復興に協力していかなければならないと思います。

※

「致知 7月号」致知出版社発行

URL <http://chichi.co.jp/>

ホームページでバックナンバーの一部を見ることができます。



抗命

川村 和夫先生
名古屋市在住
弁護士 34 年目の 58 歳
趣味 雑多

太平洋戦争末期に、ミャンマーでインパール作戦という軍事作戦が展開された。バングラに集結した南方方面軍が、ミャンマーの山岳地帯を越えて、インドにいる英軍を撃とうというものであった。帝国陸軍は、補給を軽視する傾向にあったが、この作戦はその極限例であり、出撃した6万人のうち、4万人が還らないという悲惨な結果に終わった。竹山道雄の「ビルマの豎琴」は、この悲惨さを題材にしたものである。

この作戦には、3個師団が参加したが、途中で、最北にいた師団が、命令に従わず進撃を止めてしまうという事態が起きた。通常なら、師団長は軍法会議で死刑となるような行為であるが、うやむやのうちに不問に付されてしまった。それは、命令があまりに理を外れており、命に抗うことに明らかに理があったからである。軍という特殊な組織においてさえ、そのように考えられたということは、進撃せよという命令の無謀さが尋常でなかったからである。

先日、国会で長時間の議論がされながら、うやむやに終わった原子力発電所事故発生直後の海水注入に関する命令についても、同種のことがあった。注入を停止せよという東京電力本社から福島に対する命令に、現場所長が従わなかったのである。首相の、「海水を注入しても再臨界が起きないと100%言えるのか。」との質問に、要職にある学者が、「100%ないとは言えない。」と言い、そのやりとりを聞いた東京電力幹部が、注水停止の命令を出したのだと言われている。

真相が何であるにせよ、「注水を停止すべきではない。」と首相に直言する者がいなかったことは確かである。思いつきでものを言う権力者と、それを止めない要職にある

人々というパターンは、古来国を危うくし、多くの人々を不幸にしてきた。

理を外れた命令を出すことを、それと分からない者が組織の権力を握れば、組織は崩壊する。まだ愚かな繰り返しが続くのであろうか。



展示会 in まちの縁側



6月6日、7日の二日間、「まちの縁側」をお借りして、当社の業務紹介、商品の展示会をさせていただきました。

「神岡衛生社=し尿汲取り」というイメージがまだまだ根強く残っており、墓石清掃、リースキンの取り扱い、粗大ゴミの運搬などを行っていることは意外と知られていません。そこで、「より多くの地域の皆様に当社の業務内容を知っていただく」という想いでこの展示会を企画いたしました。

墓石清掃や戸別回収のビフォーアフターのパネルを展示し、無臭元(便槽脱臭剤)やリースキンの洗剤等生活関連商品を並べて、来場してくださった方に当社の業務内容を見ていただきました。

お客様と直接お話しさせていただき、いろんな意見を伺うことができました。また、「へ～、こんな事もやっとなんや」という言葉を多くいただき、まだまだ業務内容のPRが不足していたことを反省させられました。

次回開催する際は、もっと趣向を凝らして、来場される方に楽しんでいただけるようにしたいと思います。

ご来場いただきました皆様、会場をお貸しくださった西里商店街様、本当にありがとうございました。



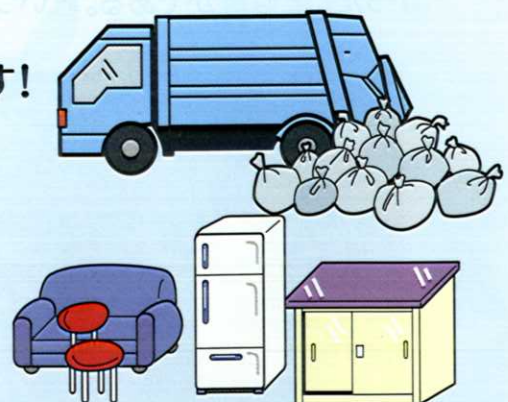
●総務課 営業係 川上 幸美

専門業者だから安心のお片付け！

ゴミの事ならお任せ下さい！
あなたの『困った…』を誠心誠意解決します！

こんな方はご相談ください

- ・引越しに伴うゴミ処分
- ・事務所の移転や閉店に伴うゴミ処分
- ・遺品整理に伴う不用品処分
- ・リサイクル対象家電製品の処分



一度ご相談ください！ **TEL0578-82-0337**

長良川の環境 12

災害の世紀が
始まったのか(2)

粕谷 志郎 (かすやしろう)

岐阜大学地域科学部教授 医学博士

貞観(じょうがん)津波(869年)の教訓が生かされなかったことを、前回はお話ししましたが、まだ、たくさん学ぶことがあります。貞観大地震の前後にはいくつかの天変地異が続きました。864年に富士山と阿蘇山が噴火しました。868年には今の兵庫県西部でM7.0以上の大地震、874年、開聞岳(今の鹿児島県)の噴火、878年、関東地方で大地震、さらに出雲(880年)、京都(881年)と地震が続き、887年には南海地震(M8.0~8.5)が起こっています。このように見てくると、16年前の阪神淡路

大震災も一つの予兆だったのかも知れません。32年前の御嶽山の噴火もそうかも知れません。私達は御嶽山を死火山と習ってきましたが、この噴火を機に「死火山」なる用語も消滅しました。1990年の雲仙普賢岳の噴火、火砕流で多くの方が亡くなられた記憶もそう古くはありません。2000年の三宅島噴火。この時の実話が、ロック~わんこの島~として映画化されます。釧路沖地震(2003年)、中越地震(2004年)と続いてきました。

この地方で最も心配な存在は、焼岳かも知れません。1585年以来幾度か噴火を繰り返しています。この時は飛騨側の中尾村に被害が出たとの記録があります。1915年には梓川を堰き止めて大正池が出来上がっています。天災は避けられません。しかし、被害を最小限にすることは出来ます。私達は被害を想定し、対策を考えておきます。しかし、この「想定」もくせ者です。今回の津波被害も、想定内での死者が少なく、想定外の地域で多数の犠牲者が出ています。「想定外」=安全ではないことも、教訓の一つです。想定を超えるのもまた天災であることを念頭に対策を練り直す必要があります。特に、飛騨地方は活断層の巣ですから、いくつかの活断層が連動してずれて、大きな地震になることも考えなければなりません。

東海、東南海、南海のそれぞれのプレートが同時に地震を起こす心配も現実のものとなっています。これらの地震は、いつかは分からないにしても、100%やってきます。過去最大の被害をもたらした地震災害をさらに上回る「想定」を持たないと、またしても大きな災難になってしまいます。



焼 岳

お客様アンケートより

社員の接客マナーや当社へのご要望などについてお客様にお伺いするアンケートを、5月から6月にかけて行いました。今回は342名の方にアンケートをお願いして、161通のご返事を頂戴いたしました。

会社全体の接客についてのアンケート結果は次の通りでした。

(単位:件)

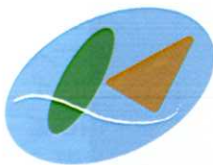
質問内容	良い	やや良い	やや悪い	悪い
1. 電話・来社時の対応	147	21	0	0
2. 対応の早さ	110	51	0	0
3. 社員の作業前後のあいさつ	145	23	1	0
4. 社員の態度や言葉使い	147	21	0	0
5. 社員の身だしなみ	145	21	0	0

おおむね、良いという評価をいただいておりますが、対応の早さについては、必ずしもご満足いただけているとは言えないようです。昨年のアンケートの際にも同様の結果となり、この1年「お客様対応1時間ルール」に取り組んでまいりましたが、まだ不十分のようです。引き続き、改善に努めてまいります。

一方、ご要望やお気づきの点として、73件ものご意見を頂戴いたしました。無記名の方には直接お返事することはできませんが、一つのご意見は皆様のご意見と考え、日頃の業務の中でお応えしていきたいと考えております。

その中で、「〇〇をしてほしい」というもののいくつかは、当社で行っている業務もありました。お困りのことなどありましたら、ぜひ一度ご連絡ください。すぐに対応できるかもしれませんが、当社では扱っていない場合には、できる限り業者を紹介いたします。

ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。



株式会社 神岡衛生社

〒506-1147 飛騨市神岡町東雲375番地

TEL0578-82-0337 FAX0578-82-5846 URL <http://www.k-eisei.co.jp/>

ホームページからお問い合わせ、ご注文など承っております。なかなか電話する時間がない方も、そうでない方もお気軽にどうぞ。

業務内容

- 一般廃棄物収集運搬/し尿、ゴミ(一般家庭・事業系)
- 産業廃棄物収集・運搬
- 浄化槽清掃
- 浄化槽保守点検
- 浄化槽工事
- 上下水道設備工事
- 下水道施設維持管理(終末処理場・管路)
- 衛生設備維持管理
- ビルメンテナンス/床清掃、排水管清掃、貯水槽清掃
- リースキン代理店
- 水質分析/環境分析、排水分析、建築物飲料水水質検査
- 環境衛生関連商品販売
- その他、環境衛生に関する全般のご相談に応じます。